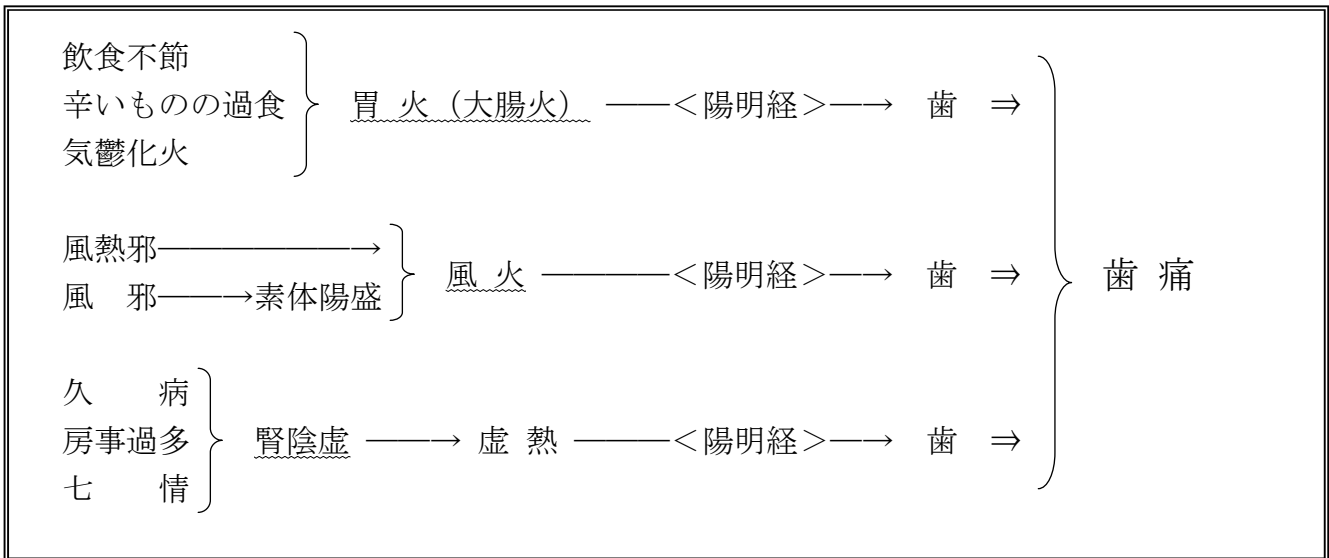


第3講 『 歯痛・眼精疲労 』

第1節 『 歯 痛 』

【 分類 】 { 実 証 : 実火、風火
 { 虚 証 : 腎陰虚

【 病因病機 】



【 弁証の要点 】

(1) 痛みの程度

{ 激しい : 実火、風火
{ 弱い、間欠性 : 腎陰虚

(2) 歯肉の状態

{ 腫脹・発赤が顕著 : 実火、風火
{ 腫脹・発赤が軽い、或いは萎縮 : 腎陰虚

【 症状と処方例 】

1. 実火(胃・大腸火)

[症 状] 激しい歯痛、歯肉の腫脹・発赤、頬部の腫れ、口臭、口渇、顔面の熱感、便秘、尿短赤、舌紅、苔黄、脈洪数・滑数

[処方例]

	経絡	意義	取穴部位
下関	胃経	(局部選穴) 疎通陽明	頬骨弓中央の下際陥凹部に取る
頬車	胃経		耳垂下端と下顎角の間の陥凹部に取る
合谷	大腸経	清瀉陽明火熱	第1・2中手骨底間の下、陥凹部、第2中手骨よりに取る
二間	大腸経		第2中手指節関節の下、橈側陥凹部に取る
内庭	胃経		足背にあり、第2中足指節関節の前、外側陥凹部に取る

2. 風熱

[症状] 痛みが顕著、歯肉の腫脹、発熱悪寒、舌苔薄白、脈浮数

[処方例]

	経絡	意義	取穴部位
下関	胃経	(局部選穴) 疎通陽明	頬骨弓中央の下際陥凹部に取る
頬車	胃経		耳垂下端と下顎角の間の陥凹部に取る
合谷	大腸経	清瀉陽明熱	第1・2中手骨底間の下、陥凹部、第2中手骨よりに取る
風池	胆経	疏風清熱	乳様突起下端と瘻門穴の中間、陥凹部
翳風	胆経		耳垂の後方で、乳様突起と下顎枝の間、陥凹部に取る。
尺沢	肺経	清肺熱	肘窩横紋上にあり、上腕二頭筋腱の橈側を取る。

3. 腎陰虚

[症状] 鈍痛、時々歯痛が起こる、軽度の歯肉腫脹・発赤、長期にわたる歯肉の萎縮、

腰膝部のだるさと痛み、目眩、耳鳴り、潮熱、盗汗、五心煩熱、舌質紅少津、脈細数。

[処方例]

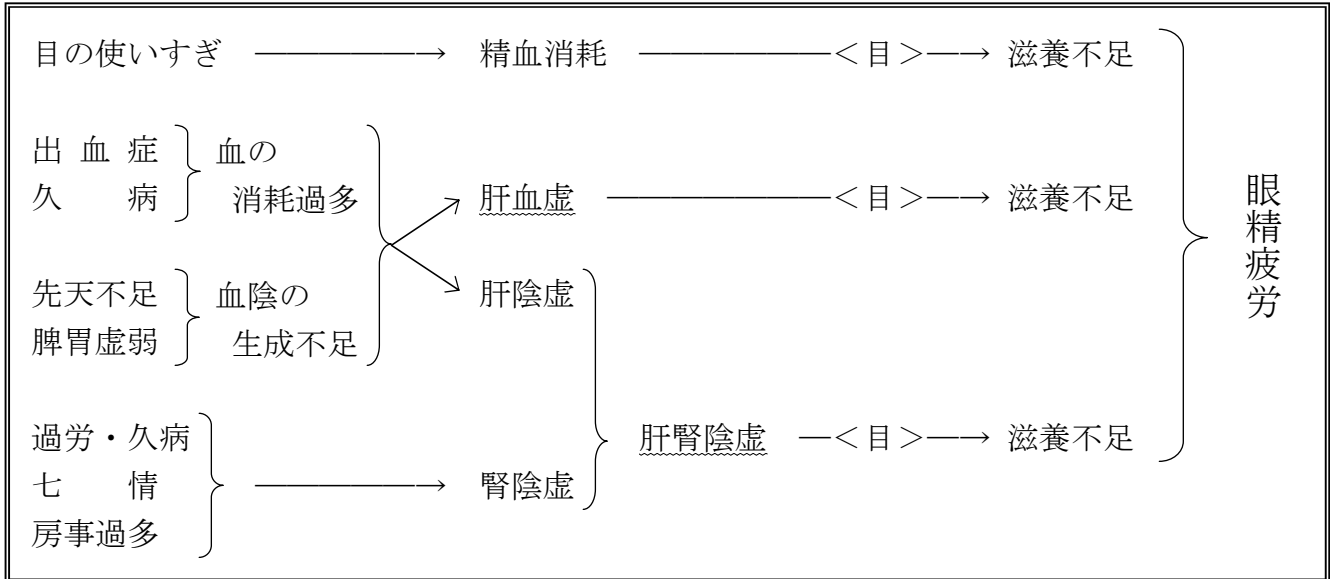
	経絡	意義	取穴部位
下関	胃経	(局部選穴) 疎通陽明	頬骨弓中央の下際陥凹部に取る。
頬車	胃経		耳垂下端と下顎角の間の陥凹部に取る。
合谷	大腸経	清瀉陽明熱	第1・2中手骨底間の下、陥凹部、第2中手骨よりに取る
太谿	腎経	滋養腎陰	内果とアキレス腱の陥凹部
照海	腎経	降火止痛	内果の直下1寸に取る。

第2節 『眼精疲労』

: 目の脹痛、視力低下、めまい、頭痛、羞明、目を閉じると痛い 等

【分類】: 肝血虚、肝腎陰虚

【病因病機】



【症状と処方例】

* 対症選穴（基本穴）:

	経絡	意義	取穴部位
光明	胆経	目疾常用穴	外果から陽陵泉に向かい上5寸
翳明	奇経		頭をやや前に傾け、翳風の後1寸
攢竹	膀胱経		眉毛内端陥凹部
合谷	大腸経	四総穴	第1・2中手骨底間の下、陥凹部、第2中手骨よりに取る
風池	胆経	顔面・五官病常用穴	乳様突起下端と瘻門穴の中間、陥凹部

1. 肝血虚

【症状】 眼精疲労（目のかすみ）、雀盲（夜盲症）、眩暈、皮膚・粘膜の蒼白、手足のしびれ、

足がつる、舌淡、脈細。

[処方例]

	経絡	意義	取穴部位
対症選穴	***	****	* * * * * * * * * *
太衝	肝経	補肝養血	足背にあり、第1・2中足骨底間の前、陥凹部
肝兪	膀胱経		第9・10胸椎棘突起間の外1寸5分
膈兪	膀胱経	補血	第7・8胸椎棘突起間の外1寸5分
血海	脾経		膝蓋骨内上角の上2寸
三陰交	脾経	健脾生血	内果の上3寸、脛骨内側縁の骨際

2. 肝腎陰虚

[症状] 眼精疲労（目の乾き）、腰膝酸軟、顔のほてり、各種乾燥、五心煩熱、月経後期・

少量・閉経、胸脇部の痛み、舌紅、苔少、脈細数。

[処方例]

	経絡	意義	取穴部位
対症選穴	***	****	* * * * * * * * * *
照海	腎経	補肝腎 滋陰清(虚)熱	内果の直下1寸
復溜	腎経		太谿の上2寸、アキレス腱の前
肝兪	膀胱経		第9・10胸椎棘突起間の外1寸5分
腎兪	膀胱経		第2・3腰椎棘突起間の外1寸5分
太衝	肝経		足背にあり、第1・2中足骨底間の前、陥凹部

《 眼 操 》

- ① 母指の腹をこめかみにあて、その他の指は額にあて64回押しもみする。
- ② 右手または左手の母指と示指の指腹を「晴明」にあてつまむようにして上下にもむ。(64回)
- ③ 母指を下顎角の下縁にあて、母指で支えながら示指腹で円を描くように「四白」を押しながら回す。(64回)
- ④ 左右の母指を立て残りの指は軽く握り、母指腹で「太陽」を押しながら示指の側面で目の縁の上側と下側をこする。(64回)
- ⑤ 中指に示指を添え、中指腹で「風池」を円を描くように押しもみする。内側から外側に、外側から内側へと交互に行う。(32回)
- ⑥ 左右の耳たぶの下端に左右の示指腹をあて、「翳風」と耳たぶを同時に押しもみする。(32回)